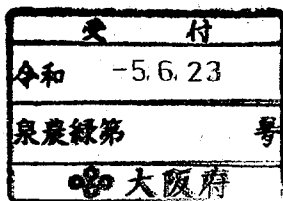


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 22日

大阪府知事 様
(大阪府泉州農と緑の総合事務所長 様)

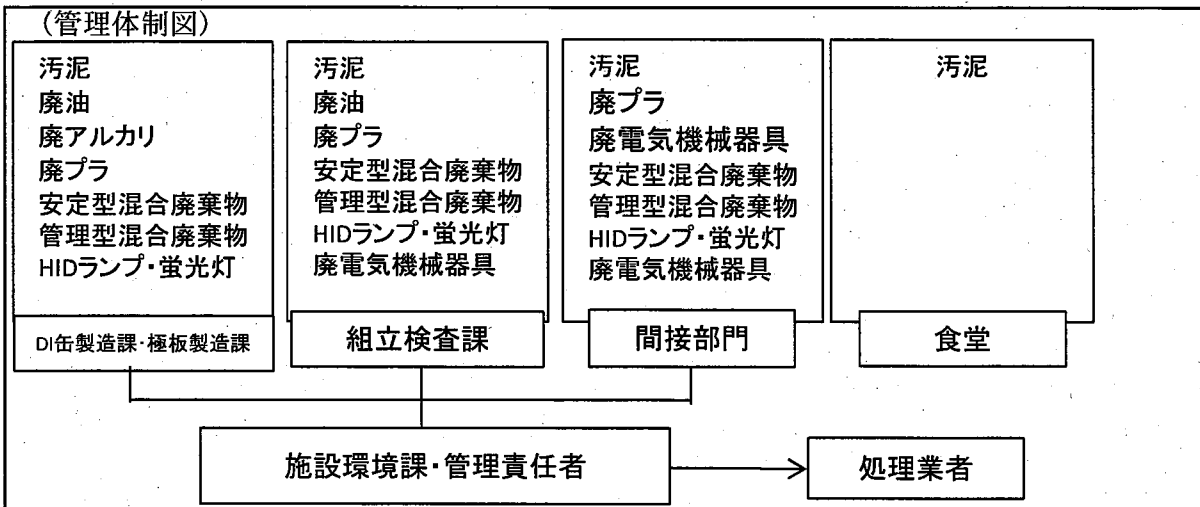


提出者
住 所 大阪府守口市松下町1番1号
パナソニック エナジー株式会社
氏 名 代表取締役社長 只信 一生
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 06-6991-1141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニック エナジー株式会社 モビリティエナジー事業部 大阪・和歌山工場
事業場の所在地	大阪府貝塚市麻生中174番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2951：蓄電池製造業
②事業の規模	2022年度：売上額 497.7億円
③従業員数	500名(2023年3月時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
	排出量	0 t	56.9 t
	（これまでに実施した取組） 別紙集計表シートのとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
	排出量	0.1 t	56.9 t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は食堂の有機性汚泥0.1t、生産検証設備で廃油19t発生見込み。設備の効率的運転を行い発生量が減少するように努めています。 ・生産設備の効率的運転を行い廃アルカリの発生量が減少するように努めています。 ・蛍光灯については蛍光灯器具のLED化で長寿命化を図り発生量が減少できるように実施中です。 ・他は現状維持。 ・2023年度EMS（環境マネジメントシステム）の活動計画にて責任者・従業員への廃棄物削減周知の展開を進めています。 		

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 下記①～⑧をそれぞれ分別、保管をしている。 ①DI缶製造工程、極板製造工程及び組立工程の廃液、廃油②工程排水の中和処理後の中和汚泥、③梱包材・生産部材などのプラスチック類、④製造工程での作業の際に用いる混合廃棄物、廃プラスチック類⑤井水精製の際に生じる井水汚泥、⑥廃蛍光管等、⑦廃電気機械器具、⑧什器類
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 同上の内容を継続実施。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和4年度）実績】			
③廃油	④廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥安定型混合廃棄物
6.7 t	1068.7 t	113.2 t	0 t
【目標】			
③廃油	④廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥安定型混合廃棄物
25.7 t	1057.3 t	113.2 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和4年度）実績】			
⑦管理型混合廃棄物	⑧HIDランプ	⑨蛍光灯	⑩廃電気機械機器
3.5 t	0.01 t	0.2 t	0.3 t
【目標】			
⑦管理型混合廃棄物	⑧HIDランプ	⑨蛍光灯	⑩廃電気機械機器
3 t	0 t	0.2 t	0.2 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の再生利用はございません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） 自ら行う産業廃棄物の再生利用はございません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の熱回収、中間処理はございません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
（今後実施する予定の取組） 自ら行う産業廃棄物の熱回収、中間処理はございません。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（令和4年度）実績】			
⑦管理型混合廃棄物	⑧HIDランプ	⑨蛍光灯	⑩廃電気機械機器
- t	- t	- t	- t
【目標】			
⑦管理型混合廃棄物	⑧HIDランプ	⑨蛍光灯	⑩廃電気機械機器
- t	- t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（令和4年度）実績】			
⑦管理型混合廃棄物	⑧HIDランプ	⑨蛍光灯	⑩廃電気機械機器
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
【目標】			
⑦管理型混合廃棄物	⑧HIDランプ	⑨蛍光灯	⑩廃電気機械機器
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分はございません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分はございません。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

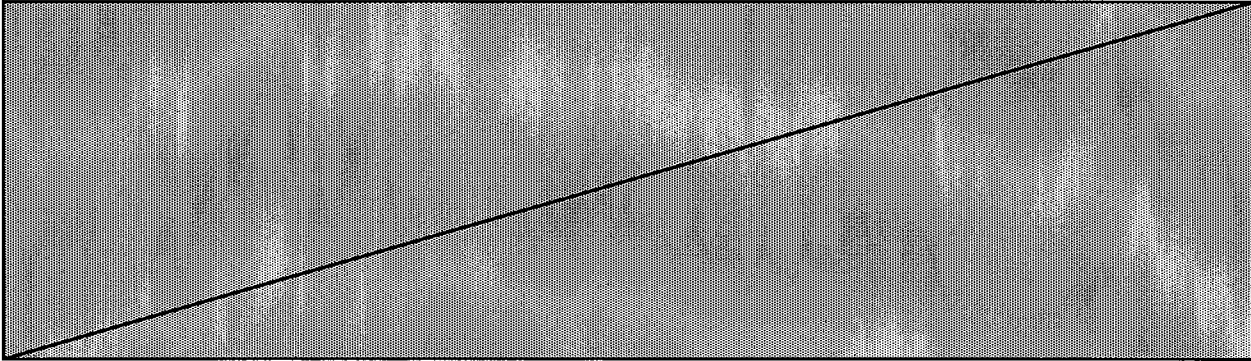
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
	全処理委託量	- t	56.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	56.9 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	56.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
（これまでに実施した取組） 廃プラスチック類（ビニール・ラップ・軟質プラスチックパレットの有価物化）。			

(第4面)

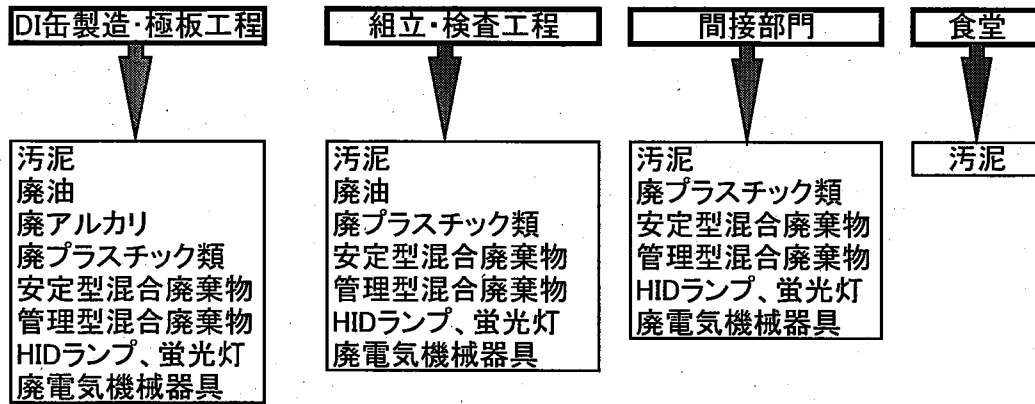
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（令和4年度）実績】			
⑦管理型混合廃棄物	⑧HIDランプ	⑨蛍光灯	⑩廃電気機械機器
- t	- t	- t	- t
【目標】			
⑦管理型混合廃棄物	⑧HIDランプ	⑨蛍光灯	⑩廃電気機械機器
- t	- t	- t	- t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（令和4年度）実績】			
⑦管理型混合廃棄物	⑧HIDランプ	⑨蛍光灯	⑩廃電気機械機器
3.5 t	0.01 t	0.2 t	0.3 t
- t	0.01 t	0.2 t	- t
3.5 t	0.01 t	0.2 t	0.3 t
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
	全処理委託量	0.1 t	56.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t	56.9 t
	再生利用業者への処理委託量	0.1 t	56.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>2023年度環境方針を各業者に伝達し環境貢献に努めていきます。</p>			
※事務処理欄			

【目標】			
⑦管理型混合廃棄物	⑧HIDランプ	⑨蛍光灯	⑩廃電気機械機器
3 t	- t	0.2 t	0.2 t
- t	0 t	0.2 t	- t
3 t	0 t	0.2 t	0.2 t
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t



〔産業廃棄物発生工程フロー〕



〔産業廃棄物処理フロー〕

※----- 運搬、 —— 処分

